

第7回 孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム幹事会 お打合せ記録

■日時: 令和4年10月18日(火) 15:00～16:00@Zoom

■参加者:

- 幹事団体は参加団体一覧を参照(赤字が事前送付との差異)
- 内閣官房 孤独・孤立対策担当室: 参事官 石川賢司、参事官 田村真一、参事官 澤瀬正明、政策参与 大西連、参事官補佐 高橋範充、参事官補佐 吉川晃
- RCF: 浦山泰之、渡辺朱音、中村翠

(以下、敬称略)

■意見交換要旨

2. 議題

(1) 担当幹事からの報告

□孤独・孤立対策に資するNPO法人等への調査について(資料1-1)

・日本NPOセンター 吉田) 資料1-1に基づいてご説明。P19の自由記述に関しては、年度内を目安により詳細な分析を行いたい考え。

□第2回シンポジウムについて(資料1-2)

・内閣官房 吉川) 資料1-2に基づいてご説明。ジェンダーバランスを考慮し、登壇者が最終確定されている。

・一般社団法人RCF 渡辺) 10/18 14:00時点の申込人数は271人。内訳は、支援関係者(NPO法人、社会福祉法人など)118人、自治体職員57人、民間企業・その他自治体職員36人である。開催日まで引き続き広報を続ける。

(2) 分科会等

□分科会1 検討成果・活動報告について(資料2-1)

・新公益連盟 井澤) 資料2-1に基づいてご説明。検討成果を受けて第2回のシンポジウムを開催予定。

・内閣官房 大西) 分科会や担当幹事会の開催を経てとりまとめまで完了した。

□分科会2 中間整理(案)について(資料2-2)

・日本NPOセンター 吉田) 資料2-2に基づいてご説明。

・内閣官房 大西) 議論をしている最中であり、分科会2全体会を開催し広く意見を募ってまとめていく想定。

・全国社会福祉協議会 高橋) 地域内でどのように日常生活をサポートできるのかについては、民間団体・地域団体を中心とすることで、今後議論が展開されると理解している。また、そこから非日常である緊急の制度にどうつなげるか、また緊急から日常にどうつなげるか、の議論を具体的に展開しながら、今後民間主体でより動きやすくするには、といったことや、制度としてどのようなものが必要か、も議論していくと考えている。ただ、地域で解決しきれないこと(広域で解決すべきこと、あるいはバー

チャル空間含めて解決すべきこと)もあり、地域とは離れた広域や全国域も視野に入ってくるため、このような議論も重ねていきたい考えである。

□分科会3について(資料2-3①)

・内閣官房 田村)資料2-3①に基づいてご説明。

・内閣官房 大西)現在試行事業が前面に出ているが、試行事業を受けて分科会3のテーマをどう議論するのか。試行事業で見えてきたことを整理しまとめていく作業が必要になる。今後、分科会3担当幹事会と分科会3全体会を進める中で取り組んでいきたい考え。

・ライフリンク 清水)12/1に第3期として試行的に相談を実施する方向性には賛同している。PFに参画している相談事業対応が可能な全団体に受け皿を担っていただき、孤独孤立HPにあるメッセージ「あなたはひとりじゃない」を、全団体が総力を挙げ受け皿を強化することにより、メッセージを具体的な行動で見せられると良いと考える。団体の対応時間は2～4時間等でも構わないため、全体で少なくとも100回線は用意したい。TVショッピングではCM後は100回線以上設けて対応している。孤独・孤立対策を社会をあげて推進するのであれば100回線でも不足している程度だと考えている。いずれにしても、総力を挙げて「あなたはひとりじゃない」というメッセージを具体的な行動で示す機会にしていきたい、またすべきである。総理大臣をはじめ皆様に関わってもらいながらメッセージを伝えたい。するとメディアも広く報道し、結果として当事者につながって電話相談が寄せられることになっていくだろう。総力をあげ、行動で「あなたはひとりじゃない」を伝える機会であることをPF全体で共有できると良いと考える。

・日本いのちの電話連盟 小西)全体でオールジャパンで挑みたいと考えている。意気込みはあるが、具体的な対応方法等はまだ詰める必要があり、団体としても考えているところ。皆様にも協力いただきながらやっていきたい。

・社会的包摂サポートセンター 遠藤)一つでも窓が広がっていく必要がある、という認識は持っているため、団体として12/1でも年末年始でも対応しようと考えている。ただ「孤独・孤立の電話を受けるとはどういうことか」を幹事会全体で議論されている必要があったと感じている。女性・生活困窮・専門的、のそれぞれのラインもそうだが、孤独・孤立はどのような人のラインだ、ということから広報の打ち出しは大きく変わる。今年は試行であるため、第3期はオールジャパンで取り組み、その結果第1,2期と第3期と、どちらが電話をかけやすいのか。多くの人が掛けやすいダイヤルにすることが試行だと考えている。電話を受けた後で専門的な対応が必要になった場合、また異なる直接つながる道をつくる、といったことを考えても良いのではないかと、電話の窓に限らずその先のことを考えていくことも良いのではないかと。加えて、SNSは対応出来た方が良いと考えている。

・全国フードバンク推進協議会 米山)食糧支援を電話相談と付随して対応したが、生活困窮の相談割合が多い中で上手くつながらなかったと捉えている。前日に申請者フォームを整えるといった準備不足の面もあり、また、電話相談を受ける担当者がどのような対応をしているかという負担感まで想像できていなかったため、申請様式が少し煩雑すぎたという反省点がある。食糧送付にあたって個人情報などをどこまで取得するかを現場担当者に伺い、より負担の少ない申請方法にする必要性を感じている。

後日で構わないため、申請方法について相談できる機会を設けていただけるとありがたい。

→内閣官房 田村)機会を設ける。今回食糧支援は2件実施した。広報も、開始後のお知らせとなり不十分さもあるが、申請者の負担が少し大きいとも感じているため、ぜひ相談させていただきたい。

(3)その他

□地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォームについて(資料3-1)

・内閣官房 高橋)資料3-1に基づいてご説明。

・内閣官房 大西)29団体に該当する地域に、自身の関わりのある団体がいる場合は情報を伝えていただきたい。自治体から広く声掛けしてPF構築・推進に取り組んでいるが、自治体都合で団体への声掛けが漏れないよう対応する必要がある、該当地域にネットワークがあれば周知に協力いただきたい。

→日本NPOセンター 吉田)各自治体の担当窓口一覧はあるか。どこに問い合わせで動きを確認すれば良いのか知りたい考え。窓口一覧は公開されているか、されていない場合共有いただけるか。また、各地の具体の動きと伴走支援する事業者はどのような状況か。

→内閣官房 高橋)担当窓口一覧について、自治体間では共有しているが幹事団体には共有していないため、後程共有する。自治体の状況については自治体毎に差がある。内部検討を始めている自治体もあれば、京都市や鳥取県のように記者発表済(京都市は9/1に連携協定の締結、鳥取県は9/14にPF形成)の自治体もある。愛媛県は孤独・孤立専用ダイヤルを設立している。また多くの自治体では、実態把握として住民へのアンケート調査を検討している。まとまっていない部分もあるため、幹事団体に共有できるよう整えていきたい。伴走支援する事業者は、6自治体毎で調整しており、第1次取組団体は3社(日本総合研究所、NTTデータ経営研究所、野村総合研究所)が採択している。事業者は現地訪問する等して状況をまとめている。2次公募分の自治体の割当については11月中旬に入札され事業者が決定する予定。第1次取組団体とほぼ同レベルの事業者がはいの見込みであり、決まり次第随時報告する。

□孤独・孤立関係のNPO等への支援について(資料3-2)

・内閣官房 高橋)資料3-2に基づいてご説明。10/11～16の6日間のページビューは6,831件であった。最初3日間の11日～13日で4,692件。その後商品売切等もあり減少し、14日860件、15日685件、16日594件であった。10/20には東京都で販売が予定されており、その他各都道府県で追加販売があればページビューが増加するのではないかと推測している。

□プラットフォーム会員専用HPIについて

・内閣官房 高橋)ID/PWのベーシック認証を用いたページを内閣官房HPに作成。幹事会資料・議事録、分科会1～3の資料・議事録、YouTube動画等を掲載している。会員と非会員の差別化のため作成。内容を充実させ、会員募集PRにつなげていきたい考え。

□その他

・日本NPOセンター 吉田) 地方版PFに手を挙げたエリアのNPO支援センターに各地の動きのヒアリングを行い、内部で共有する場を設けることで調整している。ついては、幹事団体のネットワークで各地域の関係団体に対してどのようにアプローチしているのか、参考にしたい。

→しんぐるまざあず・ふぉーらむ 赤石) シングルマザーサポート団体全国協議会が30数団体があるが、アプローチ出来ていない。

→子育てひろば全国連絡協議会 奥山) 毎月1回メールニュースを配信し情報提供している。その後の細かいところまでは踏み込めていない。

→日本NPOセンター 吉田) 日本NPOセンターとしても具体的にどのような情報を提供しどのような動きをするべきか明確でなく、一旦各地域の状況を伺って共有する予定である。

以上

**第7回 孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム
幹事会(オンライン)参加団体 (開催後追記)**

団体名	出席者 (⇒代理出席又は欠席)	幹事会 へ一任
全国社会福祉協議会	清家 篤(せいけ・あつし)会長 ⇒代理出席 高橋良太 地域福祉部長	—
全国社会福祉法人経営者協議会	磯 彰格(いそ・あきただ)会長 ⇒代理出席 宮内良樹 法人振興部副部長	—
認定NPO法人日本NPOセンター	吉田 建治(よしだ・けんじ)事務局長	—
NPO法人新公益連盟	白井 智子(しらい・ともこ)代表理事 ⇒代理出席 井澤徹 孤独・孤立担当	—
NPO法人あなたのいばしょ (SNS相談コンソーシアム)	大空 幸星(おおぞら・こうき)理事長 ⇒代理出席 高山奈々子 事務次長	—
NPO法人自殺対策支援センターライフリンク	清水 康之(しみず・やすゆき)代表 新井雅代様	—
一般社団法人 日本いのちの電話連盟	堀井 茂男(ほりい・しげお)理事長 ⇒ 代理出席 小西慶直 孤独・孤立相談プラットフォーム事務担当	—
一般社団法人 社会的包摂サポートセンター (よりそいホットライン)	遠藤 智子(えんどう・ともこ)事務局長	—
一般社団法人 生活困窮者自立支援全国ネットワーク	奥田 知志(おくだ・ともし)共同代表	—
認定NPO法人 全国子ども食堂支援センター・むすびえ	湯浅 誠(ゆあさ・まこと)理事長 ⇒代理出席 和田裕平 プロジェクトメンバー	—
一般社団法人 全国フードバンク推進協議会	米山 広明(よねやま・ひろあき)代表理事	—
認定 NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ (シングルマザーサポート団体全国協議会)	赤石 千衣子(あかいし・ちえこ)理事長	—
NPO法人全国女性シェルターネット	北仲 千里(きたなか・ちさと)共同代表	—
NPO法人子育てひろば全国連絡協議会	奥山 千鶴子(おくやま・ちづこ)理事長	—